



## Lesson 6

## 沖縄の年中行事

## Annual Events and Festivals of Okinawa

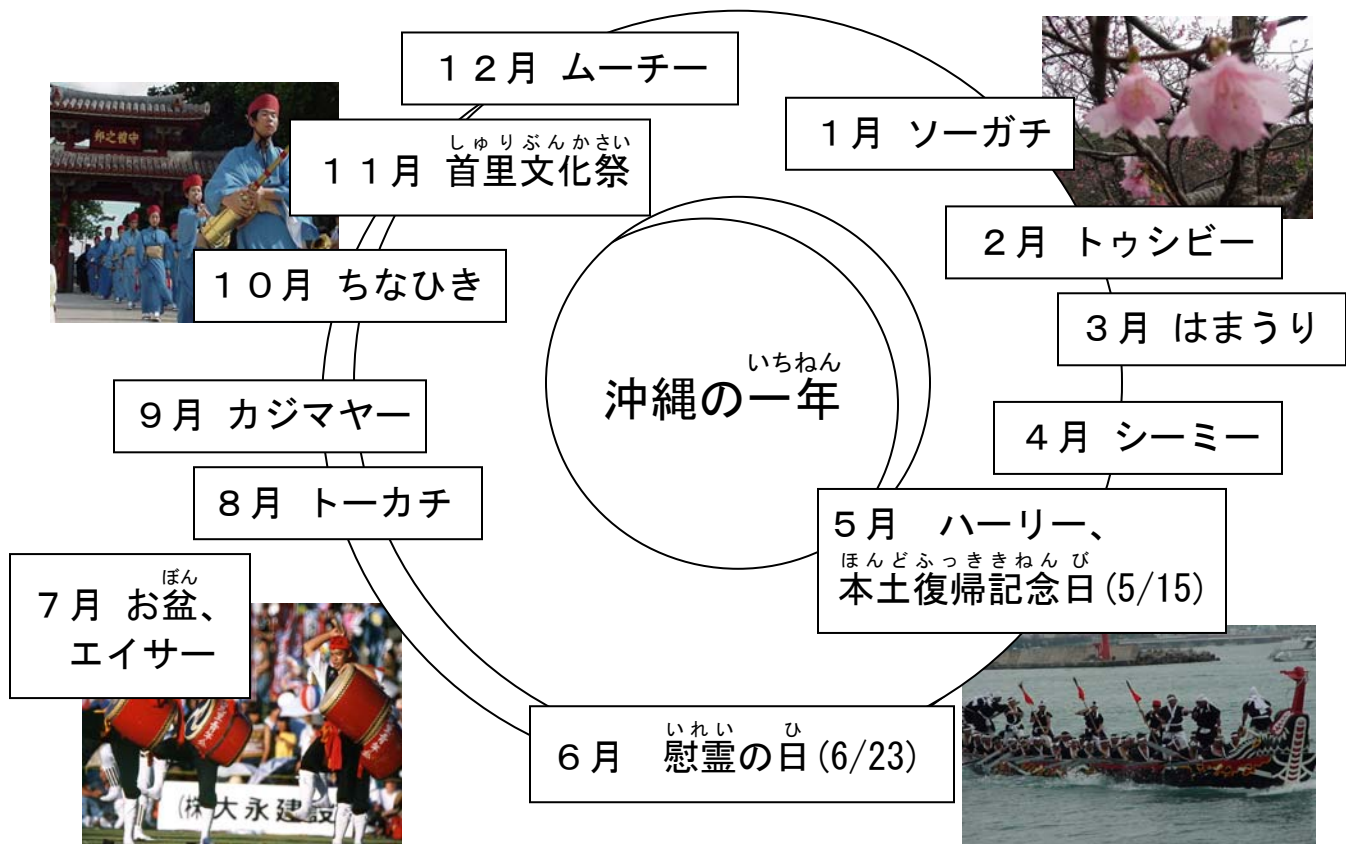
## Learning Outcomes

Students will be able to:

1. point out two or three events celebrated in Okinawa, focusing on those unique to Okinawa.
2. list similarities and differences between Okinawa and your country concerning rituals of ancestor worship such as “Shii-mii”.
3. compare and contrast Japanese and Okinawan “Obon”.

沖縄は祭りの宝庫だと言われています。沖縄の祭りや行事は、日本本土や中国の古い祭りの影響を強く受けています。祭りや行事の中心はウタキ（御嶽）で、祖先信仰や農業に関連した祭りや行事も各地で数多く行なわれます。

年中行事や祭りは、時代とともに変化しているものもあり、新しい祭りや行事も生まれてきています。



## 1月

## ソーガチ（正月）

沖縄では、ひと昔前まで旧暦の正月を祝っていましたが、今ではほとんどの地域で新暦の正月を祝います。正月は年中行事の中でも最も重要な行事です。

正月には幸せな一年を祈願するために、色々な風習があります。例えば、元日の朝早く、きれいな水を汲み、お茶をいれて、火の神や仏壇に供えます。この水は「若水（ワカミジ、またはワカウビー）」と呼ばれ、若返りの力があると信じられてきました。また、悪い神が中に入らないようにという願いを込めて「しめ縄」を飾ります。しめ縄には、縁起をかついで、みかんや昆布や炭がつけてあって、玄関口や井戸や車にかかけます。沖縄では門松をたてている家は、それほど多くありません。

年越しは、神社やお寺に初詣に出かけたり、多野岳や嘉津宇岳（本島北部）、於茂登岳（石垣島）などの高い山に初日の出を見るために、出かける人も多いようです。

家では、仏壇、火の神、神棚に、赤・白・黄の色紙を重ねて、その上に米・銭・みかんなどを供えます。正月には、分家の親戚の人たちが本家を訪れ、「いいそーがちで一びる」と挨拶をかわし、新年を祝います。また、本家へ年賀の品を持って行き、一緒に料理を食べたりします。

## 2月

## トウシビー（生年祝い）

皆さんの干支は何ですか。干支は12年で一回りするのですが、私たちが数えて13歳・25歳・37歳・49歳・61歳・73歳・85歳・97歳のとき、自分の干支の年がめぐってきます。そのとき、沖縄では、家族がトウシビー（生年祝）をして、その人の健康を祈ります。お祝いの日は、ふつう、旧暦の正月のあとの干支の日（酉年なら酉の日）です。ただし、97歳の方はカジマヤーと言って特別に旧暦の9月7日に行きません。本来は厄年にあたるので、厄払いに効果があるとして、にぎやかに祝います。また、88歳は本土では米寿祝いですが、新しい祝いの風習として17世紀に沖縄に伝わり、トーチカと呼ばれ旧暦の8月8日に祝うようになりました。

## ジュールクニチー(16日祭)

グソー（後生：死後の世界）の正月を、ジュールクニチーといいます。この日は一族そろって、重箱に餅や揚げ豆腐やかまぼこなどを入れたものを仏壇に供えたり、お墓に出かけたりして、壺をなぐさめます。特に離島では盛大に祝います。

### 3月

## はまうり（浜下り）

旧暦3月3日は、「はまうり」の日です。「はまうり」は、女の子のお祝いで、この日、女の子たちが浜に下り、海に入って身を清め、ごちそうを食べたり、歌ったり踊ったりして遊びます。

本土では、3月3日は「ひなまつり」ですが、「はまうり」と「ひなまつり」は関係があるのでしょうか。

「ひなまつり」の原型である「流し雛」は、人の穢れを人形に移して海や川に流し、身を清める行事です。「はまうり」では、人が海に入り、海の水によって身を清めます。「はまうり」と「ひなまつり」は、同じ起源を持っているのですが、「はまうり」のほうが、より古い形を残していると考えられています。



沖縄のビーチ

### 4月

## シーミー（清明祭）



「シーミー」は、中国から伝わったお墓参りの行事で、4月の初めごろ行なわれます。家族や親戚が、お墓の前に集まり、掃除をして、ごちそうを供え、先祖の供養をします。シーミーの後、お墓の前で、みんなでごちそうを食べ、楽しく過ごします。沖縄のお墓は、家族や親戚が集まってピクニックができるほど大きいのです。

5月

## 那覇ハーリー（爬竜船競漕）



ハーリー

「ハーリー」は、海の安全と、大漁を祈る行事で、中国から伝わりました。船を漕ぐ競技で、ドラゴンボートや、長崎のペーロンと同じ起源を持っています。沖縄各地で行なわれますが、「那覇ハーリー」と「糸満ハーレー」が特に有名です。那覇では、新暦5月初めのゴールデンウィークに、糸満では旧暦5月4日に行なわれます。

「糸満ハーレー」が終わるころ、梅雨が明け、沖縄は夏を迎えます。

ほんどふつききねんび  
本土復帰記念日

5月15日は、沖縄の本土復帰記念日です。日本とアメリカが戦った第二次世界大戦は1945年に終わりましたが、その後27年間、沖縄はアメリカに支配されました。1972年のこの日、沖縄の施政権が日本に返され、沖縄は日本の一県となりました。



へいわきねんこうえん  
平和祈念公園にある沖縄平和祈念堂（左）と平和の礎（右）

## 6月

## 慰霊の日

1945年6月23日は、第二次世界大戦の沖縄戦が終わった日とされています。沖縄戦では、沖縄の住民や、日米の軍人をあわせて、23万人が亡くなりました。沖縄では6月23日は「慰霊の日」という休日に制定されています。慰霊の日は、戦没者の冥福と、世界の平和を祈る日です。毎年この日、糸満市摩文仁の平和祈念公園で、戦没者の追悼式が行なわれます。公園の中にある、平和の礎（いしじ）には、戦没者ひとりひとりの名前が刻まれています。

## 7月

## 七夕・盆・エイサー（念仏踊り）

沖縄の七夕は、旧暦の7月7日で、墓掃除に行きます。それから、先祖を迎える「お盆」の準備が始まります。お盆は旧暦の7月13日から15日までの期間で、亡くなった人の霊が帰ってくると信じられています。13日は「ウンケー」（お迎え）の日で、家族全員が家の前を出て、先祖の霊を家に迎えます。仏具を拭き清め、花を活け、種々の果物（りんご、みかん、すいか、バナナ、パイナップル、マンゴーなど）を供え、仏壇の両側にウージ（サトウキビ）を2本立てます。14日の日は「ナカヌヒー」（中日）で、親戚の家を訪ね、仏壇にお参りをします。15日は、「ウークイ」（お送り）の日で、夜、家の前で火をたいて、先祖の霊をあの世に送ります。

「エイサー」は沖縄の盆踊りで、お盆のころ、沖縄各地で行なわれます。若者たちが、伝統的な衣装を着て、太鼓や、パーランクー（小型の太鼓）を打ち鳴らし、勇壮に踊ります。



エイサー

## 8月

## トーチカ（斗搔き）

沖縄で特に盛大に行なわれるのは88歳（トーチカ）、97歳（カジマヤー）のお祝い  
 です。「トーチカ」は、数え年88歳（米寿）のお祝いで、旧暦8月8日に行なわれま  
 す。親戚が集まって宴会をし、数え年88歳のおじい、おばあの長寿を祝います。

トーチカとは、斗搔の方言で、桧にもった穀類など、桧の縁の高さに搔き落として平  
 らにする棒の事です。それに赤い紙をはった斗搔をたくさん挿します。ところによっ  
 ては、カーナムン（嘉礼なもの）といってお祝いの客に一本ずつ贈るところもあり  
 ます。

## 9月

## カジマヤー（風廻）

数え年97歳のお祝いは「カジマヤー」と呼ばれ、旧暦9月7日に行なわれます。

「カジマヤー」は「風車」のことで、「人生が風車のように回って、97歳になると、  
 人は子供の心に返る」という意味があります。「カジマヤー」は、親戚だけでなく、  
 町や村、全体で祝います。数え年97歳のおじい、おばあが、赤いちゃんちゃんこを着  
 て、大きな風車を手に持ち、オープンカーで地域をパレードして、人々から祝福を受  
 けます。



10月

## 那覇大綱挽き（那覇まつり）

那覇大綱挽きは、10月に那覇市で行われる「那覇まつり」のメインイベントです。那覇大綱挽きは、琉球王朝時代に中国からの使者を歓迎するために行われ、350年以上の歴史を持つと言われていています。まず、重さが60キロもある旗頭と呼ばれる織の入場から始まります。綱は雄綱と雌綱の二種類あるのが特徴で、雌綱の輪に雄綱の輪を通し雄綱の輪にカヌチ棒（かんぬき棒）を差し込んでつなげます。大勢の人が参加して引き合います。

市民などの参加者は、雄綱側（東軍）と雌綱側（西軍）に分かれて引きます。雄綱側が勝てば平和な社会、雌綱側が勝てば五穀豊穡がもたらされると言われています。綱挽きが終わると参加者達は縁起ものとして、手綱を切り取って家に持ち帰るのが慣例になっています。大綱挽きは那覇以外の各地でも行なわれています。雄綱と雌綱を合わせて全長200m、直径1m56cm、総重量43トン、手綱総計260本で、「世界一の綱」として1995年9月6日にギネスに認定されています。



11月

## 首里文化祭

現在の沖縄の政治、経済の中心は那覇ですが、首里は、長い間琉球王国の都として栄えた所です<sup>1</sup>。

<sup>1</sup> 1954年に首里市と那覇市が合併したため、現在の首里の地名は那覇市首里となっています。

当時、国王や王妃が暮らした首里城は、沖縄戦で破壊されましたが、1992年に復元されました。11月3日の文化の日に、首里城と、その周辺で、首里文化祭が開催され、琉球王朝絵巻行列、古式行列、獅子舞、琉球舞踊、組踊、エイサー、空手など、さまざまな催し物が行なわれます。首里王朝をしのばせる古式行列は、王一行の寺参りを再現したものです。



12月

### ムーチャー（鬼餅）



ムーチャー

旧暦の12月8日（新暦では1月ごろ）に餅を作つて、邪気払いをし、子供たちの健康を願います。幅5センチ、長さ12センチほどの鬼餅を月桃の葉（サンニンの葉）で包んで蒸して、仏壇や火の神に供えます。昔は子供の年の数をひもで繫いで軒下に吊るしておきました。沖縄は、毎年この時期、とても寒くなるため「ムーチャービーサ」（鬼餅寒）という表現が、よく使われます。

### トウシヌユルー（年の夜）

ひと昔前は、旧暦の30日ごろに豚を殺し、チーイリチー（血で炒めた野菜）やソーキ汁（助骨の汁）を作り仏壇に供え一年の感謝をしました。本土復帰後は、細く長くという意味で年越しそばを食べる本土の風習が沖縄にも広まりました。夜12時になると他府県と同様、除夜の鐘を聞きながら新年を迎えます。





がじゅ めいしょう ゆらい  
賀寿の名称と由来

(日本本土の場合)

賀寿の名称	由来
かんれき 還暦	六十一歳 <small>さいが</small> の賀の祝い。60年 <small>ふたた</small> で再び自分の生まれた年 <small>えと</small> の干支 <small>えと</small> に還 <small>かえ</small> ることからいう。「本家 <small>ほんけがえ</small> 帰 <small>かえ</small> り」ともいう。
こき 古稀	七十歳 <small>とう</small> の賀の祝い。唐 <small>とう</small> の詩人 <small>しじん</small> である杜甫 <small>とほし</small> の詩 <small>し</small> に「人生七十古 <small>とほし</small> 来 <small>し</small> 稀」ということから。
きじゅ 喜寿	七十七歳 <small>そうしよたい</small> の賀の祝い。「喜」という字を草書体 <small>そうしよたい</small> で書くと、縦書きの七十七のように見え、七十七と読めることから。
さんじゅ 傘寿	八十歳 <small>りやくじ</small> の賀の祝い。「傘」の略字 <small>りやくじ</small> 「傘」が八十と読めることから。
べいじゅ 米寿	八十八歳 <small>ぶんかひ</small> の賀の祝い。「米」の字を分解 <small>ぶんかひ</small> すれば、八、十、八となることから。
そつじゅ 卒寿	「卒」の俗字 <small>そくじ</small> が「卒」であり、九と十 <small>くみあ</small> の組合 <small>くみあ</small> わせからできているため。
はくじゅ 白寿	九十九歳 <small>ひ</small> の賀の祝い。「百」という字から「一」を引くと、「白」になり、「百」から「一」を引けば、九十九となることから。



## Tasks & Discussions

1. Let's compare and contrast one of Okinawan event similar to one of your country.  
(イベントの中から1つ取り出し、自分の国と比べてみましょう。)
2. Let's discuss any events or festivals you have been to or been a part of.  
(自分が体験したイベントについて話してみましょう。)
3. Let's investigate and present on an event unique to your country or region.  
(自分の国の年中行事を調べ、自分の国の行事に独特なものがあるか話し合ってみましょう。)